

これからの中野の教育検討会議の検討状況説明会の実施結果

1. 開催日時、場所、参加人数

第1回；平成22年1月12日（火）午後7時～、南中野地域センター 洋室
参加人数9人

第2回；平成22年1月13日（水）午後7時～、区役所 7階9・10会議室
参加人数4人

第3回；平成22年1月14日（木）午後7時～、野方地域センター 洋室
参加人数6人

2. 主な質疑、意見等

【検討状況に関すること】

<全般に関すること>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>この内容は学校でかなり実行されているもので、子どもや教員の目線に立っているものがない。今の教育ビジョンも机上の論理になっている。検討会議でも、教員の多忙感という話題が出た。もう少し子どもや教員の目線にあった提案をすべきである。</p>	<p>(意見)</p>
<p>検討会議でのまとめとしてこの資料は作られているが、内容に検討会議の委員から出てきたものではないものが入っている。教育委員会からも、事務局主導にならないようにという話もあった。大切な問題の検討なのに議論に6か月しかかけていない。このまま進めていくと、教育現場や子どもたち、保護者とかけ離れた内容になってしまうのではないか。</p>	<p>事務局では検討案として資料を作成しているが、あくまで検討会議の中で検討を重ねてきている。検討会議の報告書は検討会議で議論して取りまとめていくことになる。検討会議の検討結果を踏まえ、今後の方向性は教育委員会で議論していくので、その点については誤解のないようお願いしたい。</p>
<p>去年から学校支援ボランティアが発足したがそれはどうなっているのか。コーディネーターを教育委員会事務局でやったらどうかと前々から提案している。今は副校長がその役割を担っており、前から忙しいうえにさらに多忙になっている。教育委員会事務局でコーディネーターをすることで多忙感はかなり解消されると思う。現場の目線でみるとないものがいっぱいある。そこを掘り起こせばもっと教員は楽になれるのではないか。</p>	<p>コーディネーターを副校長が負うことになってしまい、実質忙しくなっている。コーディネーター機能は必要と考えており、教育委員会として検討を進めていきたい。</p>
<p>いつも検討で終わってしまい、見ていてとても歯がゆい。次年度には目途をつける方向性を出せるように議論して欲しい。</p>	<p>少しでも前進したいと考えている。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>秋田の学力調査結果が高い要因として、家庭の生活習慣・少人数指導・教員のレベルアップがあげられていた。学力向上を検討するならこの辺りを具体的に考えていったらどうか。家庭での生活習慣については、台東区で出しているしおりなど、目にみえる施策を行ってほしい。また、少人数指導も中野区は遅れている。子どもの希望でわけていたら学力は伸びない。教育委員会として、各校のスタンダードを作るなどして効果的まものにしてほしい。教員が多忙なため、地域や保護者からボランティアとして関われないかという動きも出てきているが、そういうボトムアップから進められるのではなく、区として打ち出すものがほしい。今、教員のうつ病の問題もある。例えば、教員のメンタルヘルスを区の施策に入れたらどうか。多忙感の解消や教員のレベルアップにもつながると思う。</p>	<p>学校だけでなく、家庭での学習習慣も大切である。そのアピールを行政としてしていくべきだと思っている。</p> <p>教員の多忙感については、都教委もスクールセキュリタリーの研究を来年度から始める。都も680人がうつ病で休職しており、由々しき事態であるため、早期発見・早期対応・未然防止を考え始めている。</p>
<p>小5と小3の子どもがいる。PTAに関わるようになり、教育に関心をもつようになった。この検討会議も4回目から傍聴している。いろいろな課題が山積していることがわかったが、それらが連携や一貫で改善されるか疑問である。</p> <p>子どもの担任は宿題を出せないほど、クラスの児童の学力がバラバラであったり、教員自体に時間的な余裕がなかったりしている。少人数であればあるほどいいし、補助がついてほしいということも話していた。現場の教員の多忙感や負担を減らしてもらいたい。40人学級でなく、中野区で独自に教員を増やすことを思い切ってやってほしい。教育委員会のそういう支援で、教員も時間の余裕ができ、指導の工夫や子どもと向き合うこともでき、そうすることで子どもも勉強を頑張るし学校も楽しくなる。それが保護者や地域にも広がって、協力的になっていく。そういうサイクルができてくると、区の教育としてアピールできるのではないか。中野区の公立の学校に通わせたいと思わせる教育を期待したい。</p>	<p>(意見)</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>勉強しないと意見が言えない課題であるし、聞いてもこれから検討と言われてしまう。こういう形で行われると、保護者は学校再編が絡んでくるのではないかと思ってしまう。再編が検討要素に入っていないが、意図的に出さなかったのか。目先のことは見せないでこれを出したと見えてしまい、方法論としてよくないと思う。今の白桜小の状況や結果の検討を出しつつ一貫教育を打ち出していくような説明が受け手としてもよかったと思う。保護者も学校をよくしていくためだったら協力したいと思っている。目先のことを隠して後々のことを出すというのは考えた方がいい。保護者にとっても不思議に感じる。避けて通っている感じがする。</p> <p>これらのことには予算を使うことになると思う。よりよい教育に予算が使われることを期待している。</p>	<p>再編については隠し持っているわけではない。中長期的な教育の方向性について検討している。9月には教育ビジョンの改定を予定しており、報告書を踏まえ一定の考え方について整理したいと考えている。</p>

<これからの中野の教育に求められることに関すること>

<p>教育ビジョンの教育理念として、豊かな人間性・社会性の育成が掲げられているが、この報告の中に新たな取組みが見えてこない。企業でもコミュニケーション能力が求められており、生きる力としても人間性・社会性の育成は重要なため、より具体化した施策が必要だと思う。</p>	<p>(意見)</p>
<p>検討会議では、学校の教員が忙しすぎて時間がないという意見があった。教員が忙しすぎることを解決する内容は報告書に盛り込まないのか。教員がゆったり授業をできて中野区の教育がよくなれば、他から中野区へ児童・生徒が流れてくることにもつながると思う。</p>	<p>中野区の教育をよくするという意味では、一貫教育をするから教員が忙しくなるということではないと考えており、教育委員会として方針が決まり、カリキュラムの策定など具体的に進める段階では、学校現場の意見も聞きながら進めていくことになる。</p> <p>教員の校務事務等の軽減については、課題であると認識しているが、教員の配置については国や都も改善に向けた方針を打ち出しており、中野区だけの対応は難しい。</p>
<p>教職員の人材確保とあるが、教員が忙しくなっていることとは別に教員の資質もあるのではないかと。コミュニケーション能力の低い教員などがある。例えば、1校に病氣休職の教員が2名いるため、OJTなどを受けられないなどの話も聞く。中野区で教員を採用しているわけではないので難しいと認識しているが、中野区に異動してきた教員については穴のあくことのないように教員の資質向上のことも入っていないと厳しいと思う。一貫教育構想のイメージは相当体力がないと実現は難しいと思う。大きな幹、枝となる部分が隠れている気がする。</p>	<p>教員の資質、教員の負担増の問題は事実であり、内容をこの中に盛り込むかどうかは別としても、ごもつともな意見だと思う。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>中野区の子どもの体力は上がってきているものの、体格的には都平均以下であるし、区内の学校では100mの直線コースをとれる校庭もなく部活動も難しい状況である。学力は生きる力の一部である。国家に貢献する意欲を育てるとあるが、中野区として考えた場合どうなのか、こういう書き方に疑問を持つ。もっと自己肯定感を持つ全人的な人間像から考えていくべきなのに、学力のことやカリキュラムのことだけで窮屈な内容である。</p>	<p>教育ビジョンでは、豊かな人間性やコミュニケーション能力など、学力だけでない人間像を掲げ目指している。</p>
<p>ビジョンに掲げる人間像を目指す施策としては、学力を上げるカリキュラムばかりで、人間を育てるためのビジョンが感じられない。中野は校庭もせまくのびのびと部活もできない。このようなことばかりでは、中野区から子どもがいなくなってしまう。子どもがいなくならないような施策も検討すべきではないか。</p>	<p>学力だけでなく、学校と地域と家庭が連携して生きる力をつけていくことが必要だと考えている。校庭を広くすることは、中野区というを地域性などを考えると難しいと思う。区としても野球やサッカーができる運動施設の設置なども考えている。</p>

<連携教育に関すること>

<p>10か年計画の改定では、統合後の学校跡地の売却が書かれている。保育園や高齢者の居場所づくりへの活用など、有効利用はできないのか。</p> <p>小中一貫教育によって教員の負担はとも増えると思う。今でも事務量が多く、子どもの教育自体に時間をかけられないという声を聞く。今後、交流事業や一貫教育を行っていくと、また会議が増えると思う。それに対する支援はないのか。</p>	<p>例えば、仲町小学校では、(仮称)すこやか福祉センターとして子どもから高齢者までの相談・支援を行う施設として活用していくなど、それぞれ状況にあった活用を図っている。10か年計画は区全体の中で調整をしながら策定されていくもので、全体を見ながら作られている。</p> <p>現場から負担感が増えたという声は聞いている。教員の増員という議論もあるが、教員の事務量の軽減も課題である。現場の意見を踏まえて考えていきたい。</p>
<p>学校と地域との連携については、各学校でこれまでもしっかりやってきている。施設一体型はやめてほしい。他区のように時間をかけてきているわけでもないし、さらに小学校の数の減少につながる。</p>	<p>施設一体型小中一貫教育学校については、検討会議の中でもメリットデメリットの意見が出されている。区の現状を踏まえ課題整理をしていかなければならないと考えており、教育委員会としてどうするかは、これからの問題である。</p>
<p>検討会議の中で、小中一貫教育の話題が出てきているが、今進行中の学校再編には触れられていない。その辺はどう関わっていくのか。再編とは全く別次元の話なのか。</p>	<p>検討会議では、現在直面している課題に絞って検討をしている。小中一貫教育と学校再編は、今後関係してくると思うが、検討会議の踏まえ、教育委員会で方向性を定めた上で再編計画についても考えていくことになる。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>施設一体型については、検討会議で「ぜひ」という声も聞こえない。実際に設置するのはとても大変だと言う意見もあった。他の自治体は10年かけて検討したのに、中野区では10年くらいかけて考えていくという考えもないまま、施設一体型の設置に向けた課題整理に進んでいくということか。中後期の再編にも施設一体型小中一貫教育学校が入ってくるのか。</p>	<p>施設一体型については、あくまで検討会議の中での議論で、検討会議の検討結果のまとめもこれからである。検討結果を踏まえ、教育委員会として教育ビジョンや学校再編を検討していく。</p>
<p>施設一体型小中一貫教育学校とあるがよくわからない。</p>	<p>小中一貫教育の形態の一つとして、小学校と中学校が一つの学校として同じ校舎で一貫教育を行うものである。一貫教育は、施設一体型でなく施設分離型でも取り組める。</p>
<p>説明を聞けばわかるが、一貫教育と聞くと都立富士高や品川区にあるような施設一体型と捉えている人が多い。くどいくらいに説明してもらった方が理解されやすいと思う。</p>	<p>(意見)</p>
<p>小中一貫教育について、施設一体型とそうでないものと、中野区は両方考えているということか。 検討会議でも、理念がないと言われており、一貫教育を推進する雰囲気でない。なぜ急いでいるのか。もっとゆっくりやってほしい。</p>	<p>施設一体型一貫教育学校にはメリット・デメリットがあるという検討会議での議論があった。そういうことも踏まえ、今後、教育委員会で議論していくことになる。</p>
<p>中学校区を単位とした学校間連携とあるが、それぞれの土台がしっかりしていないと難しいのではないか。実際に教員も、再編も途中であったり、子どもたちも落ち着いた環境にないと本腰を入れて取り組めないと考えていた。</p>	<p>(意見)</p>
<p>検討会議で、連携については、幼稚園から小学校、小学校から中学校へあがるときなどスムーズでいいという話はあったが、一貫教育については、いいですねとない。それなのに検討状況のまとめに一貫校や一貫教育のことが書かれていていいのか。 時期尚早でないかと思う。</p>	<p>説明会での皆さんからの意見は、反対の意見もあったことも含めて、検討会議の場にフィードバックして検討してもらおう。</p>
<p>「施設一体型小中一貫教育学校の設置に向けた課題等の整理」とあるが、施設一体型小中一貫教育学校の設置を目指すことがこの検討会議で決まったのか。</p>	<p>これまでも連携教育を進めてきているが、様々な教育課題を解決するため、検討会議において小中一貫教育が必要という議論の中で、一つの方策として検討の俎上に上がってきたものである。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>連携教育から一貫教育へつながることと学校再編が実際にどのようにつながっていくのか。施設一体型一貫校の考え方が学校再編に反映されるのか。</p>	<p>検討会議の中で一貫校についてのメリット・デメリットの意見をいただいている。すぐに導入するというのではない。検討会議の検討結果を教育委員会に提出し、教育委員会で議論していくことになる。小中9年間の一貫したカリキュラムについては子どもにとってもメリットがあり進めるべきだと思っている。</p>
<p>再編計画については検討会議において話し合われたのか。</p>	<p>検討会議では、連携教育・地域との連携・特別支援教育の充実の3点に重点をおいて中長期的な視点をもって検討している。学校再編の中後期計画について、検討会議の結果が直接関係するものではないが、教育委員会での検討の要素にはなる。</p>
<p>沼袋小では1年生が10人しかいない。学校の活力や先生の指導の面からも問題があるし、保護者の負担も大きい。単学級が悪いとは思っていないが、複数の学級があってもうまくいっていない学校があるのは、担任の力量の問題があるからではないか。教員のバックアップに力、お金を注いでほしい。</p> <p>一貫教育として、幼保連携を視野に入れるなら、何故区立幼稚園を廃止するのか。区立幼稚園を復活する方向で考えてほしい。区民には私立幼稚園に入れるほどの経済力を持たない人もおり、区立幼稚園が減ることで幼稚園選択の余地がなくなってしまう。結局、将来的な一貫教育にも魅力を感じなくなり他区に転出していくことにつながる。もっと魅力的な教育環境をつくってほしい。</p>	<p>(意見)</p>
<p>施設一体型一貫校だが、小学校から中学校に進むにあたって学校に行けなくなる子どももいるので、中学校に進学する際に他の学校も選択できる余地を設けてほしいと思う。</p>	<p>施設一体型一貫校についてはさまざまなメリット・デメリットが検討会議でも議論されている。また、通学区域のこともクリアしていかないとならないため、さまざまな課題がクリアできた場合進めていきたいと考えている。</p>
<p>小中一貫教育は全区一斉に行うのか。</p>	<p>全区一斉か地域ごとに段階を追って進めるのかも含め、今後の検討課題である。</p>
<p>子どもを区立学校に通わせている。小中連携は今も行われているが、それだけでは到達できない壁があったのか。</p>	<p>小中一貫教育は小中の接続部分だけでなく、9年間その子の育ちをずっと見ていくという意味で、一貫したカリキュラムを作った方がいいのではないかという考えに基づいている。地域も子どもたちの育ちに一貫して関わっていく方がいいと思う。これまでの教育を否定するということではなく、よりよくしていくための議論である。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>学力向上の取組みとして、中野区独自の副読本の作成とあるが、どの科目でどういう内容を考えているのか。</p>	<p>小中学校の9年間通したカリキュラムの策定を考えており、特に、算数や数学で生じるつまづきをクリアするような副読本を作りたい。</p>
<p><学校と地域との連携に関すること></p>	
<p>職場体験、移動教室等は従来からやってきているが、子どもの人間性や社会性にどのくらいプラスになったかわからないのではないかと。変化をつけてやっていく必要がある。</p>	<p>いいと思われることばかりやってきてはいるが、検証はしていない。その課題を整理することがこの検討会議の目的でもある。これまで学校や行政でやってきたことを整理しなければならないと思う。</p>
<p>学校と地域との連携について、学校支援ボランティアのことが書かれているが、やってくださいと地域に下ろされてもなかなかできないと思う。地域でも議論したいと思うが、地域に対する説明会は開催しないのか。 他にも、最後に決まったことだけが伝わってきて不快に思うことが多い。お互いに気持ちよくやれる方がいいと思う。</p>	<p>検討会議の中身について、区民や保護者の方に説明していくことが今回の目的であり、基本的な考え方について説明会を設けた。 今後、教育委員会で方針を決め、具体化するときには地域でも議論していただき、地域の特色に沿って進めていきたい。</p>
<p><新たな取り組みの提案に関すること></p>	
<p>中野ミニマムスタンダードで、身につけていることの確認システム(検定等)というのは、区の統一テストのようなものを想定しているのか。</p>	<p>確認システムについては、学力調査ではなく当該学年で身につけてもらいたいことを検定という形で作りたいと考えている。学習指導要領のうち、その学年でどうしてもクリアしなければならないことをその時点ごとに確認していきたい。</p>
<p><特別支援教育に関すること></p>	
<p>小学校の知的障害の特別支援学級は北側に集中している。南部に設置する計画はないのか。そういうところに通う子どもたちは、入学にあたって通学路や通学時間などいろいろ考える時間が必要で、就学時健診の時の相談では遅すぎる。相談する時間的余裕、又は相談窓口などどうなっているのか。 また、知的特別支援学級は1クラス8人の基準になっている。新井小は、24人の3クラスに対し、江原小は9人で2クラス。大きな差がある。当然新井小は保護者の手伝いが必要になる。全体の人数で教員の数を検討できないか。不都合なく教育が受けられるようにしてほしい。</p>	<p>現在南部には知的特別支援学級が桃園小だけしかない。南部の小学校の知的学級の設置については議会に陳情も出されており、10か年計画にもステップとして入っている。 新入学にあたって就学相談を教育センターでやっている。アポロ園でも相談を行っている。 8人1クラスは都の基準で決まっている。人数によってぎりぎりクラスが分かれるか分かれないうちがあるが、実情に応じ、小学校ではクラス数と同数の介助員つけている。不十分などころもあるかもしれないが、一定の措置はとっている。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
【教育ビジョン・学校再編計画などに関すること】	
<p>実行プログラムは20年度で終了しているが、検討会議の内容を実行プログラムに盛り込まないのか。</p>	<p>現在、教育ビジョンの改定を進めており、その改定にあたっては実行プログラムを盛り込んだものにしたと考えている。3月までにこの検討会議の報告を受け、それを踏まえて教育委員会で議論して一定の方向性を出し、必要に応じ教育ビジョンの改定に盛り込んでいく。なお、教育ビジョンの改定は9月頃を予定している。</p>
<p>学校再編計画の時にも説明会があった。小学校3校が1校になる計画もあって、大変な経緯の中でそれが実現された。こういう議論がなされていけばよりよい方向に話しが進んだと思う。</p> <p>この検討会議の検討結果を踏まえ、教育委員会で検討し、9月に教育ビジョンを改定するとの話だが、その先はどうなっていくのか。一定の方向性が決まったときに現場に話をしてもらい、具体的な考えを吸い上げる機会を作ったらどうか。実際に動く前に現場の声などを聞く機会を設けてほしい。</p>	<p>(意見)</p>
<p>10か年計画の説明では、中後期の再編についても予定どおり進めていくと聞いたが、小中一貫を考えていく中では、再編を変えていくこともあるのか。</p>	<p>学校再編については、今進行中のものは進めていく。中後期については改めて示すことになるが、この検討会議の結果を踏まえ、教育委員会で検討していく。</p>
<p>検討会議と学校再編とは直結していないとの話だが、絡んでくると非常に神経質な話になる。また、この書き方では施設一体型をつくるものと保護者を思ってしまうだろう。学校再編は教育ビジョンにも掲げられている大きな課題である。中後期再編計画が出た段階で対象の学校には子どもが通わなくなり小規模になる。再編の検証もメリットばかりでデメリットの検証がなされていない。再編についてはペンディングする方針を出すくらいの方がいい。検討会議の中でカナダでは学校をコミュニティの核としているという話もあり、中野でも地域コミュニティの核として残してくれるのかと思っていた。再編については、地域の人や未就学の子ども意見までとらえないとだめで、それをとらえたうえで中後期の再編計画は出さないといけない。ここで、再編を見直すということは一つの改革になる。他区でも見直している。きちんと議論してほしい。</p>	<p>22年度中後期の計画を改定していきたい。この検討会議の考えを踏まえ計画をつくっていく。</p>
<p>2～3月に検討会議の報告書を教育委員会に提出した後のスケジュールについて聞きたい。</p>	<p>教育委員会として検討し、一定の方向性が決まったら具体化をしなければならない。教育ビジョンの中に具体化したものを盛り込んでいきたい。教育ビジョンは今年の9月頃を目途に改定する。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>検討会議の報告書を出してから、教育ビジョンの改定の際に、区民との意見交換の場はあるのか。</p>	<p>教育ビジョンや各々の計画等の改定の際には、意見交換会や条例に基づくパブリックコメントなど区民の方の意見を伺っていく。</p>
<p>この検討会議の報告は、今行われている10か年計画の改定とリンクするのか。</p>	<p>10か年計画の改定は今年度中ということで、今の段階で入れられる部分は入れるが、具体的な内容については、教育委員会で議論していただき、教育ビジョンの改定に盛り込んでいく。</p>
<p>一貫教育構想の実施時期はどのように想定しているのか。</p>	<p>この検討会議の検討結果を踏まえ、教育委員会で検討し一定の方向性を出す予定である。それを9月に改定する教育ビジョンに盛り込んで実施していくことになる。なお、改定する教育ビジョンには、具体的な時期等を示している実行プログラムの内容も盛り込む予定である。</p>
<p>学校再編については仕方がないと思っ ている。再編の中身について教えてほ しい。</p>	<p>少子化により学校の小規模化も進み教育環境にも影響を及ぼしている。学校教育においては集団教育が必要であることなどから、17年に「区立小中学校再編計画」を策定した。現在前期分の計画を進めてきているところである。</p>
<p>統廃合しただけでは反対の意見しか出 てこない。中野の教育を受けたいと言っ て中野区に人が集まってきてほしい。再 編するだけで教育内容を変えていか ないから、反対する人が出てくるの だと思う。そういうビジョンが事務 局から感じられない。</p>	<p>子どもたちにとってよりよい環境を目指して再編を進めてきている。</p>
<p>教育は予算と人員が重要。40人に教 員1人という基準には無理がある。そ ういう観点から再編を考えられない か。</p>	<p>学校規模が小規模化して子どもが少 ない中で、教員との関わりや集団との 関わりが少なくなっている。再編す ることで、学校の活性化とともに、 教員の数が増えることで少人数指導 ができるというメリットがある。</p>
<p>学校数が減れば、東京都は教員数を 減らしてくるので、教員が増えるとい うことはない。</p>	<p>再編によってさまざまな形で子ども 1人に関わる教員は増えることになり 、それもメリットにつながる。</p>
<p>子どもが通っていた小学校が統合され た。その白桜小では学年に1クラスしか なく、再編によっていい効果が出たの か疑問である。何人なら理想的な集 団教育と考えているのか。 白桜小にキッズプラザが入った。キ ッズプラザが入ることにより児童館が 廃止され、子どもの居場所が変わって しまう。子どもにとってはどうなの だろうか。子どもを学校の中に囲い込 むことで、教育ビジョンに書かれてい る一人ひとりの可能性を伸ばすこと ができるのか。キッズプラザを入れて も地域の人子どもたちの中に入って いくことはできないと思う。どう子 どもを育てていこうとしているのか。</p>	<p>1学年に1クラスという状態は改善 したい。少なくとも複数の学級は確 保したい。単学級では6年間同じ構 成のクラスになってしまうことも問 題であるし、担任含め10数人の教 員しかいないので学校運営上も問 題があり、教員一人あたりの負担も 大きくなってしまふ。 教育ビジョンの教育理念や目指す人 間像を念頭において、一人ひとりの 成長の中で途切れのないよう教育 を進めていきたいと考えている。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>2クラスあったらいいとのことだが、今1クラス30～35人になっているので、これを15人1クラスにすれば、2つのクラスになる。他区では30人学級としているところもあるが中野区では考えていないのか。</p> <p>全国的に子どもの数は減少しているが、江東区では増えてきている。中野区は賃料が高いので、子どもが2人目になると、手狭になって、他区に転出していく人が多い。区全体で子育て世代の定住を図れないのか。子どもの数の減少ありきで考えていくのはいかなものか。</p>	<p>文部科学省の基準では40人学級となっており、この数で教員配置されている。杉並区では区独自で教員を採用して、少人数学級に充てている。独自採用している区も必ずしもうまくいっているわけではない。東京都教育委員会では、小1と中1については40人でも2クラスにしていこうと7億円の予算をかけてやろうとしている。中野区では、財政負担のデメリットから区独自採用は考えていない。</p> <p>また、江東区はファミリー層を誘致できる環境にあるが、中野区では難しい。ただ、子ども家庭部を中心に少子化を食い止めるための施策を進めている。</p>
<p>学力向上と、豊かな人間性・社会性の育成だけが教育なのか。中野区は今後学力向上をポイントとしているのか。いい高校に入ることを目指しているだけではないか。もっと子どもの立場から必要なことを考えてほしい。</p> <p>中野区には中高生の居場所がない。子どもたちの居場所づくりをきちんと考えて教育ビジョンに盛り込んでほしい。</p>	<p>中高生の居場所については、子ども家庭部の方でキッズプラザやU18の整備などといった形で進めている。ご意見については子ども家庭部に伝える。</p>

【検討会議等に関すること】

<p>この検討会議と教育委員会の位置づけは。</p>	<p>検討会議の報告書をまとめ、教育委員会に提出し、教育委員会はその結果を踏まえて検討し一定の方向性を決めていくことになる。</p>
<p>この検討会議は、17年に策定された今の教育ビジョンの見直しのためか、それとも18年に策定された実行プログラムの改定のためなのか。その他の理由があるのか。</p>	<p>この会議の趣旨は、連携教育・地域連携・特別支援教育の充実といった大きな課題について、学識経験者や学校関係者などで検討し、これからの中野の教育の方向性を明らかにしていくものである。この検討結果を踏まえ、教育委員会で議論し一定の方向性を出したうえで、必要に応じ教育ビジョンや10か年計画の改定に盛り込んでいく。</p>
<p>検討会議はこれまでの7回の会議で終わるのか。</p>	<p>今後、区民からの意見を踏まえ、2回ほど開催し議論していきながら、その中で報告書をまとめていく。</p>
<p>検討会議にこの説明会で出た意見を報告するということが、出席した区民が少ない中で意見をまとめて報告することについてどう思っているのか。</p>	<p>説明会で出された意見の内容、区民の参加人数について次回の検討会議に報告する。それらを踏まえ検討会議で考えていく。</p> <p>参加人数が少なかったことについては、残念だと思う。今後は、周知方法等について改善していきたい。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
【その他】	
<p>教育委員会での方針と学校現場との関係はどうなっているのか。また、学校からの意見は反映されないのか。</p>	<p>教育委員会は独立した行政委員会である。教育委員会で一定の方針を出してそれを踏まえ学校教育が行われていく。施策としては学校現場に説明をしていく。また、具体的な方策等については、学校からも意見を聞く。</p>
<p>学校の統廃合によって空いた土地を売却することで、マンションが建ち、人口が増えるということになる。子どもの数も増えるだろう。そういう今後の人口や子どもの数を踏まえているのか。</p>	<p>検討会議では、細かい議論ではなく、基本的な考え方の議論をしている。今後の人口推計などについては、教育委員会で再編計画の改定の議論をする上では、資料として出していくことになる。</p>
<p>道徳教育はどのように進められているのか。ゆとり教育との関連はどうなっているのか。日本の教育に学力向上が求められているが、世の中に貢献できるといった豊かな人間性の育成も大切だ。自分たちがやっているボランティアも引き継いでやってくれる世代の育成が課題になっている。小さいときから社会でボランティアをしていくという態度を身につけていくことが大切だ。もっと具体的に力を入れないといけない。中野区として社会性を育成する場を研究したらどうか。中野区の哲学堂という名勝について小中の子どもでどのくらい知っているだろうか。国一律に尻を叩くだけでなく、それ以外のプラスになって生きていくことを教えたいと思う。区として独創的なことや特別なことを取り入れることを考えたらどうか。</p>	<p>道徳は教科ではないが、総合的な学習の時間などの機会をとらえ学校全体の中で指導している。また、副読本等を活用した授業を行っている。社会性を身につけるには人との関わりが大切で、学校の中での子ども同士、教員との関係だけでなく、地域との交流として、中学生では職業体験なども行っている。夏季学園や移動教室などの機会も設けている。</p>
<p>学校施設環境の改善はやれないことではない。改善を進めているのか。</p>	<p>学校再編にあたっては良好な環境ということで施設整備を進めてきている。区の現状から校庭を広くしていくことは難しいが、それ以外の部分については考慮してきた。</p>
<p>以前警大跡地には400mトラックがあって、狭い校庭で過ごしている子どもたちに利用させたらどうかと思っていたのに、実際は違うような開発が進んでいる。区民はどこで運動できるのか。学校の総合運動会等がやれるところが区内にあるのか。いい教育がしたいなら、スポーツ施設をつくってほしい。警大跡地に高層ビルを建てるのはおかしい。区長に間違っていると伝えるべきだ。広い運動施設を整備することで例えば中野区から箱根駅伝に出場する選手も表れることも考えられる。今の教育環境ではそんな選手は出てこない。</p>	<p>スポーツ用地については、さまざまな形で10か年計画の改定を行う中で、政策的に検討している。</p>

主な意見・質問	教育委員会の回答・見解
<p>白桜小にキッズプラザが入った。子どもたちからキッズプラザはプレイパークと違っておふざけ出来ないと話が出て、それがとても印象的だった。子ども家庭部も熱心に取り組んでいるが、子どもにとっては真面目な居場所になっている。お金をかけて整備しているのだから、子どもの目線から見たらどうなのかという視点を持ってほしい。</p>	<p>キッズプラザは子ども家庭部の所管だが、教育委員会としても連携して子どもの目線で取り組んでいきたいと思う。子ども家庭部もキッズプラザを導入したばかりであり、試行錯誤の段階だと思うので、今後の展開を見守っていただきたい。</p>
<p>小1と小6では活動内容自体が違うのに、同じ場所というのは子どもの目線にたつてのことなのか。子どもの居場所はいろいろなところに多様なものをつくってほしい。 また、青少年が集まったり、音楽ができる場などをつくってほしい。</p>	